

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) クエスチョン・バンク 臨床検査技師 国家試験問題解説	共著	2021年5月	MEDIC MEDIA	臨床検査技師国家試験に必要な基本知識、対策を編集。 担当部分：臨床病理学(病理組織細胞学) (横山雄起、山本康子、山本浩文、藤原 章)
2 (報告・発表) SK-BR3を用いたコンドロチン 硫酸ナトリウムによる接着能の 変化に関する検討	共著	2019年11月	医学検査学会	コンドロイチン硫酸ナトリウムによる接着能の変化を乳癌細胞株 SK-BR3 を用いて検討した。40mg/ml 以上の濃度では接着能は低下を示したが、20mg/ml で有意な接着能亢進がみられた。細胞接着を高めるに適した濃度の存在は、生体内における癌の浸潤・転移に関連するものと思われる。 (木嶋仁美、上月具拳、藤原 章)
3 (学術論文) Semaphorin 3F and Netrin-1: The Novel Function as a Regulator of Tumor Microenvironment	共著	2018年11月	Frontiers in Physiology	We discuss the novel molecular mechanisms underlying semaphoring 3F activity in vascular and tumor biology, and the key role of axon guidance molecules as regulators of the tumor microenvironment. This review focuses on SEMA3F and netrin-1 signaling mechanisms to understand the diverse biological functions of axon guidance molecules. (Hironao Nakayama, Chiaki Kusumoto, Masako Nakahara, Akira Fujiwara, Shigeki Higashiyama)
4 (報告・発表) HT1080 を用いた ConcanavalinA による細胞遊 走能の変化に関する検討	共著	2018年11月	医学検査学会	ConcanavalinA を用いて線維肉腫細胞株 HT-1080 の細胞遊走能変化の解析を行った。遊走率による回帰分析から決定係数は $R^2 = 0.9244$ と高い相関がみられ、高濃度になるほど遊走能を抑制する結果となった。 (杉本紗也、上月具拳、藤原 章)
5 (報告・発表) 軸索誘導因子セマフォリン 3F は乳癌細胞の浸潤を阻害する	共著	2018年5月	日本生化学学会	Herceptin 耐性化に関与する PTEN を欠損した乳癌細胞株を用いて SEMA3F の乳癌細胞に対する効果を検証した。SEMA3F は Herceptin 抵抗性の特性を持つ PTEN 欠損細胞に対して浸潤抑制効果を有していることが明らかとなった (楠本智章, 藤原 章, 東山繁樹, 中山寛尚)
6 (学術論文) アデニン誘発型慢性腎不全マ ウスモデルを使用した尿中細 胞形態検査	共著	2013年3月	医工学雑誌 Vol.7 1-8,2013	間質性腎炎の病態モデルであるアデニン誘発型慢性腎不全モデルのマウスを用いて、腎機能変化と尿中に剥離する尿管上皮細胞の形態的变化について検討した。 (川中洋平、藤原 章、焼廣益秀、南山 求)
7 (報告・発表) (学術論文) CISH 法を用いた HER2 遺伝 子増幅の検討	共著 単著	2009年10月 2010年3月	日本臨床細胞学会 近畿中央病院医学 雑誌 Vol.30 9-15,2010	Herceptin 治療による分子標的治療の対象抽出のための新たな診断法の開発を目的として CISH 法による HER2 遺伝子増幅の検出を試みた。CISH 法と IHC 法、FISH 法との一致率は、それぞれ 87.9%、94.1%であった。 (山田結花、藤原 章、松浦成昭)
8 (学術論文) Evaluation of Matrix Metalloproteinase-2(MMP-2) Activity with Film in situ Zymography for Improved Cytological Diagnosis of Breast Tumors	単著	2006年7月	Breast Cancer Vol.13,No.3 272-278,2006	To confirm the reliability of cytological diagnosis by fine-needle aspiration biopsies for breast tumors, we evaluated MMP-2 activity for cytological diagnosis. The present study demonstrates the utility of MMP-2 activity for distinguishing between malignant and benign breast tumors in cytological diagnosis. (Akira Fujiwara, Nariaki Matsuura)